

議会だより



屋形崎太鼓台



馬越太鼓台

元いっしょいっしょ
土庄町



小海太鼓台

華やかな秋祭りの
裏方さん

No.34 contents

- 町議会の動き…………… 2P
- 常任委員会の活動…………… 3～5P
- 一般質問…………… 6～7P
- 特別委員会の活動…………… 8P



見目太鼓台

9月定例会 一般会計など5補正予算可決

町議会の動き

「こんなことが決まりました」

9月定例会は、9月24日から26日までの3日間の会期で開催され、平成20年度補正予算5件、条例関係4件、人事案件2件、その他3件、また、議員発議による「議会議規則の一部を改正する規則」が提出され、いずれも原案どおり全員一致で可決しました。
 なお、平成19年度決算認定については、決算特別委員会に付託し、12月までの継続審査としました。その他、土庄町選挙管理委員会委員長および同補充員の選挙により、委員が選出されました。

平成20年度補正予算内訳 (単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	説明
一般会計	53,021	7,433,524	主な事業 老人保健事業特別会計繰出金 (前年度精算) 13,241 小海浜住宅改良事業建替事業 11,309 住民税公的年金特別徴収 システム電算委託料 9,171
特別会計	簡易水道	17,000	41,933 家浦2号池防水シート改修費
	国民健康保険	11,816	1,908,566 前年度国庫負担金等返還金
	老人保健	21,125	343,054 前年度国庫負担金等返還金
	介護保険	11,386	1,268,679 前年度国庫負担金等返還金

条例の制定・改正

● 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理
 (各条文の「報酬」を「議員報酬」に変更)

● 土庄町公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正(字句の追加・変更)

● 土庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正(株日本政策金融公庫法の施行に伴い文面改正)

● 土庄町教育施設整備基金の設置、管理及び処分に關する条例
 (国に返すべきものを基金に積立することが可能になったため作られた条例)

人事案件

土庄町教育委員会委員として任命の同意

土庄町肥土山

佐伯達也氏

(再任)

土庄町淵崎

雑喉平三郎氏

(再任)

その他

● 新たに生じた土地の確認について(小江字赤崎)

● 字の区域の変更について(小江字赤崎)

以上、四海漁港整備に伴い土地が増えました。

● 公有水面埋立について(馬越字元目等)

馬越港港整備事業に伴い、議会の議決を求められたものです。

土庄町選挙管理委員会委員長及び同補充員の選出。

次の方が当選人として決まりました。

選挙管理委員会委員

土庄町馬越

福原昌文氏

土庄町伊喜末

木下孝司氏

土庄町上庄

湊京子氏

土庄町黒岩

山下通代氏

選挙管理委員会委員補充員

● 第1順位

土庄町淵崎

森公士氏

● 第2順位

土庄町大部

岡崎ふじ子氏

● 第3順位

土庄町淵崎

大谷和子氏

● 第4順位

土庄町豊島家浦

木村修氏

常任委員会の活動

総務建設委員会

水道課

8月5日および9月5日の委員会で、各貯水池貯水状況と現在までの雨量について説明がありました。

8月も豊島を除けば平均値と比較しても40%以下と小雨傾向であり、9月も同じような降水量であれば、10月上旬には渇水対策本部の設置を協議する基準の数値に殿川ダム貯水量が近づくのではないかとの説明でした。

また、水不足に対する措置として、広報活動は、8月21日から防災行政無線による節水の呼びかけ、9月の町広報紙にも節水のお願いを掲載して、住民に対する啓発をしているとの報告でした。

総務課

総合評価方式による指名競争入札についての説明がありました。

総合的に優れた調達方法として「総合評価方式」を導入することになり、これまでの価格本位から、価格プラス品質に重きを置くことになったということでした。

町は、平成20年度より5千万円以上の工事に限り、総合評価方式導入の試行を決定したとの説明でした。

総合評価に関する評価項目等の概要は、評価項目が大きく3項目あり、1番に「企業の施工能力」として、同業種・類似工事の施工実績をみます。これは、呉発注の工事における過去10年間と町の発注工事における過去5年間の実績件数と1・2級の技術者数により評価します。

2番としては、町の発注工事の過去5年間の主任技術者としての経験件数で評価するものです。

3番目は、地理的条件として町内に本社(本店)があるかどうか、営業拠点の有無について評価するものです。

以上の項目を評価し、加算することになりま

す。ただし、全ての項目で、下請けの施工実績は記入できないことになっていきます。

委員より、小さい業者が伸びてこないのではないか。努力しているところは、みてやってほしいとの意見がありました。

執行部より、県の方は早くから実施しているの

今後は、経験がない業者も育成していきたいと思っています。

制度が始まったところなので、協議しながら進めていきたいとの答弁でした。

農林水産課

小規模ため池緊急防災モデル事業についての説明がありました。

今回、県では1,000円未満のため池で、受益地がなく管理放棄されているため池について、水源の確保に配慮しつつ災害の発生を未然に防ぐため、今年度実施する予定となっています。

事業費として100万円未満、その内、2分の1が県費で、予算については、9月補正でお願いしたいと思っています。

今回はモデル事業として、県下で7箇所を計画しています。

すでに本町では、土庄町小規模ため池保全管理協議会を設置しており、協議により意見等が整っ



鹿島・殿ノ谷池

建設課

駐車場のアンケート調査の結果について説明がありました。

本年度秋ごろに実施予定の吉ヶ浦駐車場整備事業に伴い、利用者および駐車場経営者の現状意見を把握するため、アンケート調査を実施しました。

まず、土庄町営駐車場利用者に対するアンケート調査結果については、6月13日と14日に調査を実施し、全体では配布枚数590枚で、回収率は33%で約3割の方が回答していただいたとのことでした。

回答結果は、「月毎の定期券を希望しますか」は、はいが37人、「定期



土庄港吉ヶ浦駐車場予定地

料金は月いくらが適当か」は、3千円までの方が一番多い結果になっています。

また、定期券を希望する人が37人と少なかったのは、昼間の調査であったので、高松から土庄へ通勤している方の調査が必ずしも十分でなく、もっと増える可能性もあるとの説明でした。

次に、土庄港周辺の私営駐車場所所有者に対するアンケート調査の回収状況ですが、29枚送付し、回収率は28%でした。

結果は、町営駐車場の定期券発行についてどう思うかについては、肯定、否定の方が同数でした。

定期料金は月いくらぐらいが適当かについては、3千円から3千五百円が一番多い結果になっています。

まとめとしては、町営駐車場の定期券を発行したいと考えていますとの説明でした。

委員より、やる事に決まっているのだから、アンケート調査を生かし実施してほしい。民間駐車場をあまり圧迫しない程

度でお願いしたいとの意見がありました。

また、いつごろから着工するのかとの質問があり、執行部より10月半ばから末ごろに工事にかかり、工期は2・3ヶ月かかる予定で、使用開始は2月か3月と考えているとの答弁でした。

委員より、高松からの通勤者にも利用しやすくなるよう意見を聞くなど、住民等にも十分な周知をお願いしますとの要望がありました。

商工観光課

コールセンターについての説明がありました。

セミナーの実施状況は、7月、8月に合計3回実施しており、合計で122名の方が参加していただいたとの説明でした。

なお、スタッフ養成講座は、各コース定員20名で5回実施する予定で、現在のところ合計76名の受講申込をいただいています。

続いて、「施設の状況」の説明があり、コールセ

ンター企業誘致委員会の下部組織である幹事会において、既存施設の利用が可能な検討し、候補施設として、4つの施設を挙げているとの説明でした。

まず、農協土庄支店のビルですが、空きスペースがなく貸す余地がない。

2つ目のNTT土庄交換所事務所棟は、2階部分が開いており、賃料等も提示していただいています。ある程度の間仕切り壁の撤去工事が必要です。

3つ目のNTTの西本町ビルですが、建物の床面積が狭いため利用には適さない。

4つ目の土庄町総合福祉会館は、社会福祉協議会の事務所として使用しており、国庫補助事業で建築した建物であるので、国費原費の返還も必要になるとの説明でした。

委員より、既存施設を利用する場合、工事に相当額が必要で、駐車場も少ないので、既存の施設では出来ないと思

います。町有地を貸すか売却するか検討して、民間にお願いしたらどうか。島内島外関係なく企業を募集したらどうかとの質問があり、執行部より、スタッフ養成講座を受けたい人が沢山いるので、それに応えたい。NTT土庄交換所事務所棟の2階を候補として検討しており、どの程度の費用が必要か検討に入っているとの説明でした。

教育民生委員会

現地視察

8月27日「土庄町民プール」を現地視察し、生涯学習課長から、施設の現状について建物や設備等の老朽化、危険な箇所や故障箇所の状態についての説明がありました。

生涯学習課

土庄町民プールの施設の概要は、昭和48年に建設され、大プール50m9

コースと小プールを持っています。

利用者は、年間約1,300人から1,500人で、1日平均利用者は約60人、利用者の内訳は殆どが小学生であるとのことでした。

維持管理費に、年間約120万円から130万円かかるとの説明でした。

一般使用を継続するため最低限必要な修繕は、浄化槽水漏れ工事等で、修繕費の合計は約850万円から1,000万円になるとの説明でした。

プールの槽自体50mプールは生きているが、その周辺施設等が老朽化しているのが現状です。

利用については、学校の学期中は学校教育上での利用、夏休みに入ると

からは社会教育的利用、それ以降は防災の面から防火用水として利用しているとの説明でした。

委員より、今後も継続調査をしていきたいので、教育委員会としても現場を見ていただき、再度検討して、報告していただきたい。

また、委員の意見は、施設の存続が圧倒的であった。補助金等も十分に調べて、何とか利用できるよう検討していただきたいと要望しました。

教育総務課

土庄中学校校舎改築工事の進捗状況と変更追加工事の説明がありました。

まず、工事の進捗状況は、5月に基礎工事等を終了し、今のところほぼ順調に経過しているとの説明でした。完成の目標は、2月中旬としています。

次に、変更追加工事について説明があり、建築確認申請に伴う構造変更の見直しで約710万円の増額、給排水設備工事



町民プール

は、当初は4階建て高架水槽だけであったが、3階以上の建物は、地上の受水層から高架水槽へのポンプアップ方式にするよう指導があり、その受水層、高架水槽変更工事で約340万円の増、その他の給排水工事で約260万円の増になり、合計で約600万円の増になるとのことでした。

次に、電気設備工事です。当委員会の要望事項であり、今回、風力太陽光発電設備設置工事で約175万円を計上しました。

これは、風力と太陽光発電の併用になっており、設置場所は中庭の駐車場に設置し、発電設備は教材としての活用と災害時の避難施設となる礼法室に電気を供給したいとの説明でした。

以上、変更工事の総合計は、約1,577万円になり、12月ごろに最終的な変更契約を一括したいとの説明でした。

委員より、給排水設備工事の受水層と高架水槽の変更工事は、少し高いのではないかと意見が

ありました。

福祉課

障害福祉計画と高齢者福祉計画および介護保険事業計画の説明がありました。

まず「障害福祉計画」は、障害者自立支援法の施行により、市町村に策定が義務付けられたものであり、市町村における障害福祉サービス等の提供に関する具体的な体制づくりやサービス等を確保するための方策などを取りまとめた計画となるとの説明でした。

続いて、「高齢者福祉計画」と介護保険事業計画の説明がありました。

「高齢者福祉計画」は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、将来必要とされる老人福祉事業の目標量と、その事業量を確保するために必要な方策などを取りまとめた計画となり、「介護保険事業計画」は、介護サービスの種類ごとの見込み量や地域支援事業の見込み量、

また、その見込み量を確保するために必要な方策などを取りまとめた計画になるとの説明でした。

中央病院

病児保育施設の進捗状況と病院改革ガイドラインについて説明がありました。

まず、病児・病後児保育事業の内容は、子どもが病気やまた回復期などで保育所や学校に行けず、保護者が仕事を休めない時に一時的にお預かりする事業です。

子育て支援により、働きやすい環境を整備したいとの説明でした。

施設運営費用については、国の補助金制度で定員4名として、補助事業費基準額年間848万円、補助率国3分の1、県3分の1、町3分の1により取り組みたいとのことでした。

また、施設の設置場所は、病院3階西側の一部を改修し、乳児室を3室とトイレ、調乳室を配置したいとの説明でした。



子育て支援センター

今後の予定は、8月中には実施設計を済ませ、9月に入札と工事の発注を行い、11月末までには完成し、施設の利用開始を21年1月頃を予定しているとの説明でした。

次に、病院改革ガイドラインについてですが、これは総務省から示されたものであり、全国自治体病院の町立病院は、78%の病院が赤字経営となっています。

病院を設置している地方公共団体は、財政的状況と経営環境が一段と厳しくなっていることから、各自治体病院において、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直し等につ

て、国から「公立病院改革プラン」を平成20年度内に策定をするよう求められています。

町としては現在、4月にプラン策定委員会を設置し、策定作業を進めています。

12月をめどにプランを策定し、皆様に報告したいとのことでした。

委員より、病児・病後児保育事業は、看護師さんが預かるのですかとの質問に対し、執行部より国の補助要綱でうたわれており、看護師1名と保育士2名で預かります。

臨時職として3名を採用したいとの説明でした。

人権対策課

小海浜住宅建替事業の進捗状況と建替後の家賃について説明がありました。

まず、住宅建替事業の進捗状況は、平成18年度からスタートし、入居者と小海地区の自治会役員等も参加した『小海地区人権のまちづくり推進協議会』を設立し、住宅の

建替事業等を協議してきました。

平成20年度に入り、購入用地横の護岸工事を実施しており、9月半ばまでに完了する予定とのことです。

住宅の建設は3棟分、2戸1タイプで計6戸を9月に発注する予定であり、集会場を除く整備事業は、22年度で完了予定との説明でした。

建替後の家賃は、昨年11月の教育民生委員会で事務局案の新家賃を提示し、その後、まちづくり推進協議会での話し合いの中で、町長に要望書が提出され、それを受けて、再度家賃案を作成したとの説明でした。

現在の改良住宅の家賃は定額制になっていますが、建替後の新家賃は応能応益で、主に世帯の総所得等によって、家賃が決定されます。

全体では7年間の傾斜家賃で、当初の負担の軽減も図りたいとの説明でした。

する質問

一般質問事項

柳生好彦 議員
教育、少子化対策

働くお母さんのサポートやその子どもの持っている個性をのばす等、若い世代の定住化等についてどのように考えているのか。

Q 放課後子ども教室の現状と今後の計画は。

A 「放課後子ども教室」を放課後対策の柱の一つと位置づけ、現在土庄、測崎、大鐸の3教室で158名の児童が登録しています。今後は、四海小学校区など未開校区へ順次開設して行きたいと考えています。また、放課後子ども教室自主教室の拡大については、運営においては条件整備等サポートをして行きたい。また拡大については、町もある程度のことを考えなければならぬと思っています。

Q 病児保育及び院内保育の進捗状況は。

A 中央病院では、病児保育一時預かりを実施するため、現在病院3階の一部を改修工事しています。看護師の負担軽減を図るための院内保育施設の整備については、職場の環境改善の観点から育児問題全体も勘案しながら今後研究検討を重ねたいと考えています。

中央病院では、病児保育一時預かりを実施するため、現在病院3階の一部を改修工事しています。看護師の負担軽減を図るための院内保育施設の整備については、職場の環境改善の観点から育児問題全体も勘案しながら今後研究検討を重ねたいと考えています。

Q 個性ある教育を推進してはどうか。

A 「研究開発学校」について、全国的には、実践研究を通じて新しい教育課程・指導方法を開発していくため、科学的な研究、国際人育成の研究、キャリア教育の研究、特別支援教育の研究の編成・実施の研究が行われていますが、わが町でどのような取り組みが可能かを学校長とも意見交換をしながら相談したいと考えています。

Q 定住化策について。

A コールセンター企業への誘致に

向けて取り組んでいるところですが。

川口幸路 議員
これからの行財政改革大綱について

Q 土庄町職員の定数条例について。

A 現時点での職員数の適正規模を定めることは大変難しい状況にあります。今後の職員数の動向も十分見極めながら、適切な時期に職員定数条例の改正を提案させていただきます。

Q 経常収支比率の適正化を。

A 過去5年間で見ても、85%から90%の範囲で推移し、平成18年度と平成19年度を比較しても0.7ポイント増加しています。主な要因としては普通交付税等経常一般財源が減少したにも関わらず、福祉関係への繰出金が増えたためです。

Q 将来の財政収支はどのようになるのか。

A 23年度までに財政調整基金残高がゼロとなり、行政サービス面の選択も視野に入れながらの苦しい行政運営を覚悟しなければなりません。なお、財政調整基金の現状も踏まえ、将来に向けての課の統廃合、町有地売却、人件費等、行財政改革への思い切った決断など真剣に取り組んで参りたいと思っています。

泊満夫 議員
農地法の適用緩和施策を

Q 昨年12月議会業務契約の競争原理導入に関する検討結果について。

A 島外の業者からも見積もりを取りましたが、結果的には島内の契約業者より割高となり、最終的には島内業者と契約をするに至りました。今後も競争に

Q 3月議会で質問した農地の取得条件の緩和について、その後の取組みは。

A 農地取得ができる下限面積を20アールから10アールに引き下げて頂くよう県に要望しました。また、農地転用については、地域ごとの例外的な取り扱いが難しい状況にあります。このように農地法の問題は、それぞれの地域において様々なご意見が出されています。今後とも農業委員会を通じて農地制度の緩和を図り、地域の活性化につながるよう県に要望して行きたいと思えます。

Q メリハリのある予算編成の基本的な考え方について、一例として子育て支援センターと商工会の補助金を取り上げてお尋ねしたい。

町政に対 9月定例会

A

子育て支援事業の予算については、町としても現場の声を聞きながら子ども健康面への配慮も含め、利用実績に見合う予算編成を更に心がけたいと考えています。

また基本的な予算編成全体の考え方としては、現下の多額の財源不足を十分認識し、需用費等は前年度予算の97%の範囲内、また各種団体補助金については、原則、前年度予算の90%の範囲内としています。

山本良熙議員

公共施設用地の中に民有地がどれくらいあるのか

Q

町内の学校・幼稚園・保育所等の公共施設用地(統廃合で生じた跡地を含め)の中に民有地が存在しているか。

A

現在把握しているのは、土庄中学校が11件、旧戸形小学校が1件です。土庄中学校の内、4件は寄付により土庄町に所有権移転が出来ました。残り7件

Q

三枝邦彦議員
二町合併について

Q

町長の公約の中で「合併をする」と言っておられました。今の考え方、今後の取り組みについてどうお考えですか。

A

合併すべきであるという基本的な姿勢は変わっていませんが、前回、歩み寄れなかった部分への協議には、今少し時間が必要ではないかと思っております。また、任期中の協議会立ち上げについては、時間的な制約もあり、困難な状況となっておりますので、短期的な結論を急ぐべきではないと考えています。また、瀬戸・高松広域定住自立圏構想も今後議論を積み重ねることになっており、そういった考え方も視野に入れて検討していくのも一方策と考えています。

給食について

Q

月1回「弁当の日」が広がっ

A

平成20年度の妊婦健康診査の公費負担の県下の状況ですが、4回から6回の交付状況であり、平均で4.88回となっております。今後、国および県下の状況を踏まえ、妊婦さんの安心安全を図る観点から、少子化対策全体の中で検討させていただきたいと考えています。

A

香川県内では、6小学校、5中学校で実施されているようです。しかし児童、生徒の中には、様々な家庭があり、今すぐ取り組むのは難しいと考えています。今後は、このアイデアを校長会、給食運営委員会、PTA等で情報を共有し、取り組み事例について話し合いたいと考えています。

井上正清議員

子育て支援について

Q

わが町の少子化対策も着実に改革が進められているが、なお子育て世代にとっては課題が山積し、今後子どもを生み育てる環境づくりが急がれる。

Q

母子の健康管理支援策として無料妊婦検診の回数を増やすことによる安心安全対策が望まれますがどうか。

A

単独園で3歳児の長期預かりを実施するには、4・5歳児と3歳児は心身の発達の違いがあり、クラス分けが必要となり、専任保育者の増員等指導体制の検討、午睡場所等施設環境整備が必要となります。来年度から取り組むには、まだまだ課題がありますので、現場と更なる検討をしたいと考えています。

Q

幼稚園での、3歳児長期預かり保育を来年度当初からの実施に踏み切れる体制づくりを整えて頂きたい。

交通問題対策特別委員会

9月4日に2回目の交通問題対策特別委員会を開催しましたので、ご報告します。

企画課から海上交通の減便等についての報告と説明がありました。

土庄港と高松港間の減便等についてですが、町のこれまでの動きとして、フェリーおよび高速艇の運賃値上げの動き並びに高速艇の減便の動きがあり、8月5日に町長、町議会議長等6団体長名で、小豆島急行フェリーに対して要望書を持参提出しました。

その後、会社側が高速艇の一隻減便の認可申請を8月11日に提出したというところで、15日に再度、同6団体同メンバーで、小豆島急行フェリーと四国運輸局に要求書等を持参提出しましたが、18日に運輸局より、本日許可したとの連絡を受けたとの説明でした。

また、8月19日に、小豆島急行フェリーの社長

等が来庁し、6団体長の出席の中、要求書に対する回答が口頭であり、『今回の減便は、燃油高騰が最も大きな要因である。企業努力はしているが燃油の上昇をカバーできない、料金値上げの動きはある』などが回答の概要でした。

委員より、議会でも本委員会が出来ているのに、このような問題は臨時でも会を開いて協議してから実施した方が良かったのではないかと等の意見があり、今後は、議会でも早めに周知し協議したいとの意見がでました。

次に、「地域交通活性化・再生総合事業について」の説明がありました。

5月9日の第1回委員会の講演会において、四国運輸局より説明があった事業です。実施している市町村の状況は、四国運輸局管内の第一次公募で3件、第二次公募で3件の認定を受けていま

す。

内容は、協議会が地域公共交通の活性化および再生を総合的、かつ一体的に推進するための計画を策定する調査事業と、具体化・実施のために協議会が取り組む事業に一括支援する事業になっているとの説明でした。

委員より、まず陸上と海上のダイヤの接続の研究をし、次に、市街地を回る「ぐるっとバス」等を考えたかどうかという意見がでました。

次回委員会では、陸上と海上のダイヤの接続の研究等をテーマに実施したいと思えます。

10月23日

町老人スポーツ大会

体力の限界に挑戦。ホット一息・炭坑節



決算特別委員会を設置

9月定例会において、議員発議による決算特別委員会が設置されました。

この委員会では住民の税等を財源にした予算が、行政・経済・住民福祉の向上にどのように反映されたかを調査検討し、次年度の予算編成と財政運営に反映させていきたいと考えています。

委員長	井上正清
副委員長	山本良熙
委員	川本貴也
	泊 満夫
	上川正衛
	川口幸路
	藤本誠助

迷路のまち・第二回まち屋絵手紙展

- 期間／10月14日～12月中旬（9時～18時）
- 場所／ギャラリーよそへ（旧横井スーパー横）
- 入場無料

編集後記

太鼓台の組み立ては宵祭りの日に、朝早くから地域の者で組み立てます。指揮者の音頭に合わせて、しっかりと綱を締め付ける責任ある仕事です。表紙の写真は、北浦地区の様子です。

今年も「えいしゃしやげ」の掛け声にあわせて担ぎ上げられた太鼓台は、私達に元気を与えてくれますが、これには裏方があってこそ成り立つものです。

弁当作り、交通係、乗り子等、皆様、大変ご苦労さまでした。

町議会はいつでも傍聴することができます。もっともっと身近に接してみませんか！

町議会の本会議は公開されています。皆さんが選んだ議員がどのような会議を行い、町政がどのように進められているかなど、町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。

詳しくは議会事務局へお尋ねください。(62-7011)

次の町議会は、12月10日から予定しています。

この議会だよりは、再生紙を使用しています。